

公益財団法人 日本卓球協会 平成 30 年度 第 3 回理事会 報告

【日時】

平成 30 年 12 月 15 日(土) 13:00 ~ 15:48

【場所】

東京・東京・岸記念体育会館・1 階 101-103 号室

◎決議事項

第 1 号議案 専務理事提案 (星野専務理事)

①特別功労者表彰について 承認

現役引退を表明した福原 愛 氏の永年にわたる功績を称え、賞状の授与と併せ副賞として金一封を贈呈する。

②参与の推薦について 承認

小川 敏夫 氏 (平成 20 年~23 年本会理事/一般社団法人東京都卓球連盟 現副会長) と
山本 昇治 氏 (平成 26 年~27 年本会常務理事/一般社団法人東京都卓球連盟 現理事長) を
参与とする。

③日本スポーツ協会への評議員の推薦について 承認

前原 正浩 氏を推薦する。

④2019 年・2020 年度委員会委員長の推薦について 承認

- ・競技者育成委員会 … 小岩 孝一 氏 (継続)
- ・アスリート委員会 … 岸田 聡子 氏 (継続)
- ・スポーツ医・科学委員会 … 吉田 和人 氏 (継続)
- ・アンチ・ドーピング委員会 … 松尾 史朗 氏 (継続)
- ・指導者養成委員会 … 葛西 順一 氏 (継続)
- ・組合せ委員会 … 加賀谷 修 氏 (新任)
- ・クラブ委員会 … 丸川 真一 氏 (継続)
- ・登録推進委員会 … 松生 純明 氏 (新任)
- ・段級制委員会 … 鈴木 達也 氏 (継続)
- ・レディース委員会 … 阿久津しげ子 氏 (継続)
- ・マスターズ・ラージボール委員会 … 梶下 博 氏 (新任)
- ・中学生普及委員会 … 佐藤 佐知典 氏 (継続)
- ・ホープス委員会 … 松下 雄二 氏 (継続)
- ・環境委員会 … 小畑 幸生 氏 (新任)
- ・ルール・審判委員会 … 長谷川 敦司 氏 (継続)
- ・用具委員会 … 長谷川 敦司 氏 (継続)
- ・広報委員会 … 山下 哲 氏 (継続)

新委員は、新委員長を中心に推挙され、都道府県卓球協会/連盟に確認の上、第 4 回理事会に提案する。新委員会発足は、2019 年 4 月 1 日。

第 2 号議案 財務部提案 (安西常務理事)

①平成 30 年度第三次補正予算について 承認

第三次補正予算は、当期経常増減額が二次補正予算▲54,148 千円から 5,670 千円と 59,818 千円の増加により、5,670 千円の黒字である。
平成 27 年度以降の推移から、予算に対する収入・支出の増減に注意する必要がある、収支相償を念頭に十分管理してゆく。

第 3 号議案 事業部提案 (金崎常務理事)

①2019 年度大会要項について

- (1) 申し込み締め切りについて 提案取下げ
「締切日迄に申込なき場合は、原則不参加とみなす。」とすること。
- (2) 全日本ホカバの部・全日本カデットの部「特別推薦枠」記述改正について 承認
ペンホルダー選手とカット型選手とを分けて明記する。
- (3) 全日本ラージボール卓球選手権大会「第 1 ステージの審判」について 承認
第 1 ステージの審判は主管地で行う。
- (4) 全日本社会人卓球選手権大会について 承認
学校教育法第 1 条校を明記し、専修各種学校在籍者は出場できない旨を加筆する。
- (5) 全日本クラブ卓球選手権大会から全日本社会人卓球選手権大会への推薦について 承認
全日本クラブ卓球選手権大会(10 月開催)から全日本社会人卓球選手権大会(9 月

- 開催)へ推薦できないため、該当部分を削除する。
- (6) 全国大会時の看護師等の配置について **承認**
 全国大会主管マニュアルに「救護体制(看護師等配置)を整えること」を追記する。
- (7) 大会要項の西暦表示について **承認**
 2019年度は「西暦表示」とし、2020年以後についても西暦表示とする。
 なお、大会名称の和暦も西暦とし、現行の年度表記ではなく開催年表記とする。

②2020年度大会要項について

- (1) 全日本ラージボール卓球選手権大会(2020年度より実施) **承認**
 外国籍選手の参加資格を追記する。
 シングルス：外国籍選手は出場できないが、日本で出生し、引き続き3年以上日本に在住している者、または引き続き日本に10年以上在住している者は出場できる。
 ダブルス：出場資格制限はない。
- (2) 全日本クラブ卓球選手権大会(2020年度より実施) **承認**
 種別を改正し、年代別種別には禁止事項(一般の部2部：一部の全国大会出場後は3年間出場禁止)を設けない。
 1) 一般の部2部 「30歳以上の部」に変更。
 2) 50代の部 「50歳以上の部」に文言改正。
 3) 60代の部 「65歳以上の部」に変更。
 ※「一般」、「30歳以上の部」、「50歳以上の部」、「65歳以上の部」、「小中学生の部」の5種目になる。
- (3) 全国レディース卓球大会について(2020年度より実施) **承認**
 1) 混成時のチーム名称は、いずれかのチーム名を使用する。
 2) 外国籍選手の参加資格を追記する。
 団体戦：各試合で1名、単複いずれかに出場できる(参加申込は2名まで)。
 個人戦：ペアの内、1名のみとする。

③2019年度年度主管費について

- (1) 空調費(仮設経費含む) … 本会指定大会は、主管費を増額する。 **承認**
 全日本ラージ(7月)、全日本実業団(7月)、全日本ホカバ(7月)、全国レディース(8月)、全国ホープス(8月：未定)、全日本社会人(9月)
- (2) 2019年度全国ホープス開催地(未定)に主管費不足分補填について **承認**
 無理をお願いして主管を受けいただくため、空調費及び体育館使用料等の主管費対象項目は、主管地が赤字運営とならないように追加支給する。
- (3) 全国大会賞状筒について **承認**
 主管費対象項目とし主管地でご準備いただく。主管費は増額しない。

④国体・全日本(団体)のマットについて **承認**

マットを敷くことは開催地の国体実行委員会・都道府県卓球協会/連盟の判断に一任する。

⑤登録規程改訂について **承認**

第10条3項、登録手続き開始日を2月1日から3月1日とする。
 施行日は平成30年12月15日。

第4号議案 総務部提案 (松尾常務理事)

①JTТА相談窓口の設置及び倫理規程改訂について **承認**

1. 相談窓口の概要
 相談内容：暴力、ハラスメント、不正経理、法令違反
 対象者：JTТА会員、関係者
 受付方法：電子メール、FAX、文書
 窓口：弁護士事務所
 匿名：不可
 規程：作成予定
2. 取り扱う通報・相談の範囲
 事案により取扱が困難な場合は、該当機関を案内する。
 - (1) 取扱対象
 - ① JTТА役員・職員を対象とした事項
 - ② NT選手を対象とした事項
 - ③ 加盟団体役員を対象とした事項
 - (2) 取扱が困難な案件
 - ① 国・地方公共団体、学校等教育機関(部活動含む)、企業、関連団体その他

当法人以外の組織・団体内部の事項や係争中の事項

②加盟団体内部の事項

3. 倫理委員会の常設化について

倫理規程を改定し、倫理委員会を常設化する。会長直轄の委員会とする。

◎報告事項

1. 専務理事報告（星野専務理事）

- ①2022 世界選手権大会に立候補し、開催都市は福岡県北九州市とする。
- ②2019 年度全国ホープス卓球大会開催地は、2018 年 11 月 21 日現在未決定である。
- ③2019 年度統一球が決定し、メーカー側からの広報・告知活動は、2019 年度の資料から開始する。
2019 年 7 月全日本ホープス・クラブ・バンブ → 日本卓球（株）（本年度タマス）
2019 年 11 月全日本カデット →（株）タマス（本年度 VICTAS）
2020 年 1 月全日本一般・ジュニア →（株）VICTAS（本年度ニッタク）
- ④2020 年度インターハイ開催地が岩手県奥州市に決定し、開催経費補助金の申請があった。
- ⑤JOC 加盟団体会長会議が開催され、スポーツ界のガバナンスの確立とコンプライアンス違反の徹底防止を目的とした講演があった。スポーツ・インテグリティの確保が重要である。
- ⑥ユニバーシアード大会総枠数変更が JOC から通知され、選考基準を訂正した。
- ⑦兒玉圭司氏基金使途は、寄付者である兒玉氏の意向に従って次のとおりとした。
1)2,000 万円を本会規程「メダル獲得者報奨金」の財源とする。（今後 5 大会）
2)2,000 万円を全日本シングルス優勝者に 100 万円を贈呈する。（10 年間）

2. 財務部報告（安西常務理事）

- ①平成 30 年度中間決算報告
- 中間監査報告（金井監事）

3. 事業部報告（金崎常務理事）

- ①2019 年度全国大会について
・全日本卓球選手権大会（ホープス・クラブ・バンブの部）開催期間 【7 月下旬】
・全日本クラブ卓球選手権大会 開催期間 10/11～14
・全国ホープス卓球大会 開催地は現段階でも未定。

4. 総務部報告（松尾常務理事）

- ①指導者表彰被表彰者選定基準（内規）を補足する、留意事項文言に修正があった。
- ②第 2 回理事会で指摘された臨時理事会議事録の議事内容記載漏れは、臨時理事会終了後に行われたオリエンテーションでの事項のため、議事録の記録対象外であった。

5. 強化本部報告（宮崎常務理事）

- ①ナショナルトレーニングセンターでの合宿時の留意点を関係者に配布した。
- ②第 28 回東アジアホープス大会日本代表選考会免除選手
・松島 輝空 選手（木下グループ／京都）
・吉山 和希 選手（TC 中原／埼玉）

6. 国際部報告（星野専務理事）

- ①第 3 回ユースオリンピック・2018 世界カデットチャレンジ報告
・第 3 回ユースオリンピック（アルゼンチン・ブエノスアイレスで開催）
国際卓球連盟（ITTF）財団のイベントで、日本とアルゼンチン国交 120 周年記念パーティーに前原副会長他、JOC 日本選手団長が出席。
アルゼンチン卓球協会副会長（ITTF 執行副会長）の依頼で、張本智和選手と地元選手との卓球交流等が行われた。
競技応援には、在アルゼンチン日本大使、JOC 日本選手団長、JOC 日本選手団総監督他、他競技の監督・選手の方々もご来場くださった。最終日は IOC 会長が来場された。
・2018 世界カデットチャレンジ（鳥取県・鳥取市で開催）
15 歳以下を対象とする教育研修を含む大会で、日本からの提案でスポーツ栄養学とアンチ・ドーピングの教育プログラムを実施した。
この大会に合せた ITTF ホープスチームの事前合宿を岡山県で行った。大会後、ITTF 会長より、鳥取県、JTТА に対して感謝のメッセージが届いた。

7. 事務局報告（事務局長）

- ①業務執行理事活動報告書
- ②事務局より
 - (1)今後の会議予定等
 - (2)平成 30 年秋の叙勲・褒章・文部科学大臣表彰
叙勲 旭日双光章 吉田 久茂 氏（群馬県卓球協会・元会長）
瑞宝小綬章 伊勢 淳一 氏（鳥取県卓球連盟・元会長）
 - (3)会合出席報告
 - (4)その他

事務局移転は来年6月末を予定しており、詳細は次回理事会にて報告する。

以上